

ほづみ

郡山市立穂積小学校
学校便り No.9
令和3年6月7日
文責：校長 中澤修一

「プール開きの式」を行いました

6月2日（水）の昼に、「プール開きの式」を行いました。

児童代表の「誓いの言葉」の後、担当の先生から「プールの安全な使い方」について、ていねいに指導しました。

今年度も、安全面に十分配慮しながら、楽しくプールでの学習を進めていきたいと思っています。



緑の少年団結団式から

「プール開きの式」の後に、3～6年生で、「緑の少年団結団式」を行いました。

今年度から入会する3年生に、緑の少年団の帽子やスカーフ、手帳が送られました。



【結団式での校長の話】

緑の少年団は、その名のように”緑を守り育てる”ための活動を行います。

森林や緑に関する活動を通じて、自然を愛し、人を愛し、自らの地域社会を愛する心豊かな人間に育ってほしいという願いのもとつくられた団体です。

郡山市では、緑の少年団があるのは、穂積小学校と開成小学校と、安積第二小学校の3校だけです。穂積小学校は、郡山市の代表でもあります。たくさんの期待もされています。

ですから、自分たちでできることは何かを考えながら、”緑を守り育てる”ための活動がんばってください。

SDG s への取り組みについて

SDG s は「エス・ディー・ジーズ」と読みます。「Sustainable Development Goals」の略で、日本語に訳すと「持続可能な開発目標」という意味になります。



SDG s は2015年9月に開催された国連サミットで採択された、言うなれば「世界共通の課題」です。人類が将来の世代にわたり恵み豊かな生活を確保できるよう、一人ひとりが自己認識をもって課題解決に挑むために設定されました。目標達成時期は2030年とされています。

小学校では、どのようにSDG s を取り組めばよいでしょうか。

本校では、「持続可能な社会の創り手」を目指して、社会科、理科、総合的な学習の時間、プログラミング学習の指導計画に、SDG s の17の共通目標との関連を具体的に明記して、3年生以上の各学年で指導を進めています。

例えば、3年生では、総合的な学習の時間に「SDG s ってなあに」という題材を設けて、SDG s についての意識付けを行います。また、5年生では、社会科で「SDG s 未来都市郡山」について特別に取り上げて学習し、SDG s について理解を深めます。

学校だけではなく、家庭でもSDG s について学び、それぞれができることから取り組むことが可能です。機会を見つけて、お子さんとSDG s について話し合ってみるのもよいかと思います。ご家庭でのご協力もよろしくお願いいたします。